

《おじいちゃん、おばあちゃんの中山間農地管理おまかせプロジェクト》

市町村	西川町	対象地域	西川町内	分野	土地利用型作物、直接販売（土地利用型作物）	
実施主体名	大泉忠昭	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	西川町	
実施主体構成	個人					

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	23,680千円(13,638千円)																									
	独自の目標項目	水稻栽培面積：8ha→13ha 飼料米栽培面積：0a→12ha ソバ栽培面積：5ha→10ha 大豆栽培面積：0a→5ha 中山間集落協定：6協定→10協定																									
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）																					
	産出額	10,042千円	10,520千円	15,300千円	17,120千円	19,800千円	23,680千円																				
独自の目標項目	水稻栽培 8ha 飼料米栽培 0ha ソバ栽培 5ha 大豆栽培 0ha 中山間集落協定 6協定	水稻栽培 7ha 飼料米栽培 3ha ソバ栽培 5ha 大豆栽培 0ha 中山間集落協定 6協定	水稻栽培 10ha 飼料米栽培 5ha ソバ栽培 6ha 大豆栽培 2ha 中山間集落協定 7協定	水稻栽培 10ha 飼料米栽培 8ha ソバ栽培 7ha 大豆栽培 3ha 中山間集落協定 8協定	水稻栽培 11ha 飼料米栽培 10ha ソバ栽培 8ha 大豆栽培 4ha 中山間集落協定 9協定	水稻栽培 13ha 飼料米栽培 12ha ソバ栽培 10ha 大豆栽培 5ha 中山間集落協定 10協定																					
プロジェクト概要	◎実施方針	高齢化・後継者不足で困っている農地を積極的に引き受け、圃場に応じた効率的な作物を栽培し、雇用を創出しながら新たな販売先を開拓して産出額を増やしていく。																									
	○産出額の増大	栽培面積の拡大とバランスの良い作物の栽培、農業の6次産業化を進め、新たな販売先を拡大しながら産出額の増大を目指す。 ① 水稻→直接販売と切り餅加工 ② 飼料米→福寿館牧場との連携（将来25ha相当飼料米の要望あり） ③ ソバ→天保蕎麦保存会との連携 ④ 大豆→こだわり豆腐製造業との連携、将来は廃校を利用した豆腐製造 ⑤ 農作業受委託→受委託面積も拡大しながら、販売先を確保していく																									
	○雇用の創出	・農業研修生を受け入れて雇用の場を提供、地元住民が時間雇用できる場を創出。 ・軽作業(水管理や草刈り)から機械オペレーターまで、その人に合った作業を割り振り、若い人から高齢者までの有効な雇用を目指す。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状（H21）</th> <th>H26</th> <th>増加分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常時雇用</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>520人日</td> </tr> <tr> <td>臨時雇用</td> <td>57人</td> <td>400人</td> <td>343人日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2人×9日+1人×28日+1人×11日=57人日</td> <td>10人×20日+5人×40日=400人日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57人日</td> <td>920人日</td> <td>863人日</td> </tr> </tbody> </table>			現状（H21）	H26	増加分	常時雇用	0人	2人	520人日	臨時雇用	57人	400人	343人日		2人×9日+1人×28日+1人×11日=57人日	10人×20日+5人×40日=400人日		計	57人日	920人日	863人日				
	現状（H21）	H26	増加分																								
常時雇用	0人	2人	520人日																								
臨時雇用	57人	400人	343人日																								
	2人×9日+1人×28日+1人×11日=57人日	10人×20日+5人×40日=400人日																									
計	57人日	920人日	863人日																								

	○創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な特別栽培農産物を中心とした直接販売 ・中山間直接支払制度を有効に活用した農業経営 ・経営農地を全て安価な貸借契約にすることにより経費を削減 ・部分的作業受託により、設備投資額をできるだけ抑えた農業経営を実践 ・地元の月山朝日観光協会等との連携を図りながら、新たな顧客獲得を目指す ・農産物加工による付加価値を増加した商品の販売
	○実 現 性	<ul style="list-style-type: none"> ・脱サラして就農4年目で15haの農業経営者となる。（町内で一番大きな面積を栽培） ・生産調整方針作成者として町の水田ビジョン策定に積極的に関わり、毎年3～5haの農地を引き受けており、西川町農業委員会・西川町耕作放棄地対策協議会との連携により、耕作放棄地の解消にも積極的に取り組んでいる。 ・中山間集落協定も6協定に関わり、今年度も新たな集落より協力要請希望がある。 ・(財)やまがた農業支援センターを窓口に農業体験の受け入れを行っている。 ・今年中の法人化を計画しており、10月には農業研修生1名を雇用する予定である。 ・先進農家（天童市：森谷茂伸氏）に指導をいただきながら、お米の有機・無農薬栽培の実績を積み重ねている。
	○地域への波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで耕作放棄地を8haほど復旧し、景観の保全に役立っている。 ・後継者のいない農家から毎年3～5haを受け入れ、地域農地の駆込み寺としての役割を担っている。 ・中山間集落協定も6集落ほど参加、他地区からも協力要請希望があり、中心的な役割を担っている。 ・法人化により新規就農者の新たな雇用場所ができ、町の定住人口増加に一役かっている。 ・地域住民に就労の場として、軽作業(水管理や草刈り)から機械オペレーターまで、その人に合った作業を割り振り、若い人から高齢者まで雇用の場を提供している。 ・農業体験希望者については、地元の旅館や民宿等に宿泊させ地域経済の向上をはかっている。 ・地元小学校の出前授業を行い、子供たちの自然学習に協力している。
	○そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングホリデーや農業短期体験プログラムの受け入れを積極的に行い、新規就農者の養成に努めている。 ・移住交流推進機構(JOIN)山形県ブロガーとしても全国に情報発信している。 ・西川町認定農業者会幹事 ・山形県認定エコファーマー（水稻） ・山形県農業機械士 ・平成21年度やまがた6次産業ビジネススクール修了 ・第11回米・食味分析鑑定コンクール国際大会(H21) 無農薬コシヒカリ2次審査進出(食味数値90、味度数値92)

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	精米施設新設、農機具格納庫増設 育苗ハウス、木質系燃料給湯器 色彩選別機、普通型コンバイン 播種機、ロータリーカルチ	